

救い主は天から



〈贈呈〉

無料—非売品

救い主は天から

神のみ言葉は上から来て、義に飢え渴いている魂に非常な助けとなります。人が悔い改め、罪を捨て、そして主イエス・キリストを救主として信じた時、主はご自身をその人に顕わされ、ご自身の喜びと平安をその信じた人の心に分け与えられるのです。わたしも1937年にこの体験をいたしました。それ以来、この長い年月、一度もこの主とのすばらしい交わりを破られたことはありません。そこで、もしあなたにこの経験がないならば今ここで主にすべてを任せるようにお勧めします。

ワッツソン・グッドマン

神の愛

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに對するご自身の愛を明らかにしておられます。

(ローマ五・八)

さて、過越の祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。

(ヨハネ一三・一)

人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

(ヨハネ一五・一三)

また、忠実な証人、死者の中から最初によりがえられた方、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安が、あなたがたにあるように。イエス・キリストは私たちを愛して、その血によって私たちを罪から解放し……。

(黙示録一・五)

神は、実に、そのひとり子をお与えになつたほ

どに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

(ヨハネ三・一六)

主は遠くから、私に現われた。「永遠の愛をもつて、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。」

(エレミヤ三二・三)

イエス・キリストの神性

確かに偉大なのはこの敬虔の奥義です。「キリストは肉において現われ、霊において義と宣言され、御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。」

(一テモテ三・一六)

初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあつた。ことばは神であつた。……ことばは人となつて、私たちの間に住まわれた。私たちがこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

(ヨハネ一・一、一四)

このすべての出来事は、主が預言者を通して言

われた事が成就するためであった。「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)

(マタイ一・二三、一三三)

わたしと父とは一つです。(ヨハネ一〇・三〇)

イエスは彼に言われた。「ペリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください。』と言うのですか。わたしが父におり、父がわたしにおられることを、あなたは信じないのですか。」

(ヨハネ一四・九、一〇a)

神の御子イエス

だれでも、イエスを神の御子と告白するなら、神はその人のうちにおられ、その人も神のうちにいます。(一ヨハネ四・一五)

御使いは答えて言った。「聖霊があなたの上に来る。いと高き方の力があなたをおおいいます。」

それゆえ、生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。」(ルカ一・三五)

ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

(イザヤ九・六)

彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲がその人々を包み、そして、雲の中から、「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞きなさい。」という声がした。

(マタイ一七・五)

イエスは彼に言われた。「あなたはその方を見ただのです。あなたと話しているのがそれです。」

(ヨハネ九・三七)

キリストのうちにこそ、神の満ち満ちた性質が形をとって宿っています。(コロサイ二・九)

イエスが自らについて語られたこと

それでイエスは彼らに言われた。「あなたがたが来たのは下からであり、わたしが来たのは上から

らです。あなたがたはこの世の者であり、わたしはこの世の者ではありません。……イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。」(ヨハネ八・二三、五八)

女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。その方が来られるときには、いつさいのことを私たちに知らせてくださいるでしょう。」イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」(ヨハネ四・二五、二六)

イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことがありません。」(ヨハネ六・三五)

わたしが世にいる間、わたしは世の光です。

(ヨハネ九・五)

そこで、イエスはまた言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしは羊の門です。」(ヨハネ一〇・七)

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりて

す。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」(ヨハネ一一・二五)

あなたがたはわたしを先生とも主とも呼んでいただきます。あなたがたがそう言うのはよい。わたしはそのような者だからです。(ヨハネ一三・一三)

イエスのなされた奇跡

そしてイエスは、群衆に命じて草の上にならせ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて、それらを祝福し、パンを裂いてそれを弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。人々はみな、食べて満腹した。そして、パン切れの余りを取り集めると、十二のかごにいっぱいあった。食べた者は、女と子どもを除いて、男五千人ほどであった。

(マタイ一四・一九―二二)

するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましよう。」そして、そのとおりにすると、たくさん魚がはいり、網は破れそうになった。

(ルカ五・五、六)

すると、道ばたにすわっていたふたりの盲人が、イエスが通られると聞いて、叫んで言った。「主よ。私たちをあわれんでください。ダビデの子よ。……イエスは言われた。「わたしに何をしてほしいのか。」彼らはイエスに言った。「主よ。この目をあけていただきたいのです。」イエスはかわいそうに思って、彼らの目にさわられた。すると、すぐさま彼らは見えるようになり、イエスについて行った。(マタイ二〇・三〇、三一b―三四)

創造者であり主であるイエス・キリスト

……万物を創造された神……。

(エペソ三・九a)

なぜなら、万物は御子にあつて造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も權威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。

(コロサイ一・一六)

すべてのものは、この方によって造られた。造

られたもので、この方によらずにできたものはない。(ヨハネ一・三)

この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。

(ヘブル一・二)

ですから、イスラエルのすべての人々は、このことをはっきりと知らなければなりません。すなわち、神が、今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。

(使徒二・三六)

キリストは、死んだ人にとつても、生きている人にとつても、その主となるために、死んで、また生きられたのです。

(ローマー四・九)

神は真実であり、その方のお召しによって、あなたがたは神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに入れられました。

(Iコリント一・九)

すべての者の審判者、イエス・キリスト

それなのに、なぜ、あなたは自分の兄弟をさ

ばくのですか。また、自分の兄弟を侮めるのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つようになるのです。

(ローマー四・一〇)

神の御前で、また、生きている人と死んだ人とをさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現われとその御国を思つて、私はおごそかに命じます。

(Ⅱテモテ四・一)

人の子が、その栄光を帯びて、すべての御使いたちを伴つて来るとき、人の子はその栄光の位に着きます。そして、すべての国々の民が、その御前に集められます。彼は、羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼らをより分けま

(マタイ二五・三二、三三)

また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました。

(ヨハネ五・二二)

私の福音によれば、神のさばきは、神がキリスト・イエスによって人々の隠れたことをさばかれる日に、行なわれるのです。

(ローマ二・一六)

イエスは私たちに命じて、このイエスこそ生きている者と死んだ者とのさばき主として、神によって定められた方であることを人々に宣べ伝え、

そのあかしをするように、言われたのです。

(使徒一〇・四二)

贖いはキリストを通してのみ

わたしは門です。だれでも、わたしを通してはいるなら、救われます。また安らかに出入りし、牧草を見つめます。

(ヨハネ一〇・九)

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

(ヨハネ一四・六)

それでわたしは、あなたがたが自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。もしあなたがたが、わたしのことを信じなければ、あなたがたは自分の罪の中で死ぬのです。

(ヨハネ八・二四)

完全な者とされ、彼に従うすべての人々に対して、とこしえの救いを与える者となり……

(ヘブル五・九)

ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるので

す。

(ローマ三・二四)
したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことがおできになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。(ヘブル七・二五)

この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。(使徒四・一二)

しかしあなたがたは、神によってキリスト・イエスのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と聖めと、贖いとになりました。(Iコリント一・三〇)

キリストが私たちのためにご自身をささげられたのは、私たちをすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心なご自分の民を、ご自分のためにさよめるためでした。(テトス二・一四)

また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった父なる神に、喜びをもって感謝をささげることができましますように。神は、私たちを暗やみの圧制から救い出し

て、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。

(コロサイ一・一二―一四)
人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。(ルカ一九・一〇)

彼らは、新しい歌を歌って言った。「あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い……。」(黙示録五・九)

キリストの血による贖い

ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。

(ローマ五・九)
私たちは、この御子のうちにあつて、御子の血による贖い、すなわち罪の赦しを受けているのです。これは神の豊かな恵みによることです。

(エペソ一・七)

これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです。

(マタイ二六・二八)

ご承知のように、あなたがたが先祖から伝わったむなししい生き方から贖いだされたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れない小羊のようなキリストの、尊い血によつたのです。

(一ペテロ一・一八、一九)

しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

(一ヨハネ一・七)

まして、キリストが傷のないご自身を、とこしえの御霊によつて神におささげになつたその血は、どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行ないから離れさせ、生ける神に仕える者とする事でしょう。

(ヘブル九・一四)

救いはキリストを信じることによる

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によつて救われたのです。それは、自分自身から出たことで

はなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇ることはないためです。

(エペソ二・八、九)

ですから、信仰によつて義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによつて、神との平和を持っています。

(ローマ五・一)

キリスト・イエスにあつては、割礼を受ける受けないは大事なことではなく、愛によつて働く信仰だけが大事なのです。

(ガラテヤ五・六)

……主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。

(使徒一六・三一)

なぜなら、神によつて生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝つた勝利です。

(一ヨハネ五・四)

すると彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行なうために、何をすべきでしようか。」イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じる事、それが神のわざです。」

(ヨハネ六・二八、二九)

しかし、これらのことが書かれたのは、イエス

が神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。

(ヨハネ二〇・三二)

神の恵み

天が地上はるかに高いように、御恵みは、主を恐れる者の上に大きい。……しかし、主の恵みは、とこしえから、とこしえまで、主を恐れる者の上にある。主の義はその子らの子に及ぶ。

(詩篇一〇三・一一、一七)

私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。

(Ⅱコリント一・三)

あなたのような神が、ほかにあるでしょうか。あなたは、咎を赦し、ご自分のものである残りの者のために、そむきの罪を見過ごされ、怒りをいつまでも持ち続けず、いつくしみを喜ばれるからです。

(ミカ七・一八)

あなたの恵みは大きく、天の上にも及び、あなたのまことは雲にまで及ぶからです。

私たちが滅びうせなかつたのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。「あなたの真実は力強い。」

(詩篇一〇八・四)

神は、私たちが行なつた義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもつて私たちを救ってくださいました。

(哀歌三・二二、二三)

(テトス三・五)

神の招き

「さあ、来たれ。論じ合おう。」と主は仰せられる。「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。」

(イザヤ一・一八)

御霊も花嫁も言う。「来てください。」これを聞く者は、「来てください。」と言いなさい。渴く者は来なさい。いのちの水がほしい者は、それをただで受けなさい。

(黙示録二二・一七)

ああ。渴いている者はみな、水を求めて出て来

い。金のない者も。さあ、穀物を買って食べよ。さあ、金を払わないで、穀物を買ひ、代価を払わないで、ぶどう酒と乳を買え。(イザヤ五五・一) さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。」

(ヨハネ七・三七)

イエスはそれをご覧になり、憤って、彼らに言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。止めてはいけません。神の国は、このような者たちのものです。」(マルコ一〇・一四) すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。(マタイ一・二八)

神の子ども

そのことによつて、神の子どもと悪魔の子どもとの区別がはつきりします。義を行なわない者はだれも、神から出た者ではありません。兄弟を愛さない者もそうです。

(一ヨハネ三・一〇)

神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子ども

もです。あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によつて、「アバ、父。」と呼びます。

(ローマ八・一四、一五)

それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあつて傷のない神の子どもとなり……。

(ペリピ二・一五)

それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。汚れたものに触れないようにせよ。そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、わたしはあなたがたの父となり、あなたがたはわたしの息子、娘となる、と全能の主が言われる。

(Ⅱコリント六・一七、一八)

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

(ヨハネ一・一二)

酒について

肉の行ないは明白であつて、次のようなもので

す。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、醜陋、遊興、そういつた類のものです。前にもあらかじめ言つたように、私は今もあなたがたにあらかじめ言つておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。

(ガラテヤ五・一九—二二)

遊興、醜陋、淫乱、好色、争い、ねたみの生活ではなく、昼間らしい、正しい生き方をしようではありませんか。主イエス・キリストを着なさい。肉の欲のために心を用いてはいけません。

(ローマ二三・一三、一四)

ああ。朝早くから強い酒を追い求め、夜をふかして、ぶどう酒をあおっている者たち。

(イザヤ五・一一)

ぶどう酒が赤く、杯の中で輝き、なめらかにこぼれるとき、それを見ればならない。あとでは、これが蛇のようにかみつき、まむしのように刺す。

(箴言三三・三一、三二)

正しい道

そこで、イエスは彼に言われた。「心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。これがたいせつな第一の戒めです。」

(マタイ二二・三七、三八)

イエスが道に出て行かれると、ひとりの人が走り寄つて、御前にひざまずいて、尋ねた。「尊い先生。永遠のいのちを自分のものとして受けるためには、私は何をしたらよいでしょうか。」イエスは彼に言われた。「なぜ、わたしを『尊い』と言うのですか。尊い方は、神おひとりのほかに、だれもありません。戒めはあなたもよく知っていますはずです。『殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽証を立ててはならない。欺き取ってはならない。父と母を敬え。』すると、その人はイエスに言つた。「先生。私はそのようなことをみな、小さい時から守っております。」イエスは彼を見つめ、その人をいつくしんで言われた。「あなたには、欠けたことが一つあります。帰つて、あなたの持ち物

をみな売り払い、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を積むことになりま
す。そのうえで、わたしについて来なさい。」す
ると彼は、このことばに顔を曇らせ、悲しみなが
ら立ち去った。なぜなら、この人は多くの財産を
持っていたからである。

(マルコ一〇・一七—二二)

人の目にはまっすぐに見える道がある。その道
の終わりは死の道である。

(箴言一六・二五)

間違った考え方

思い違いをしてはいけません。神は侮られる
ような方ではありません。人は種を蒔けば、その
刈り取りもすることになります。

(ガラテヤ六・七)

子どもたちよ。だれにも惑わされてはいけませ
ん。義を行なう者は、キリストが正しくあられる
のと同じように正しいのです。罪のうちを歩む者
は、悪魔から出た者です。

(一ヨハネ三・七、八a)

あなたがたは、正しくない者は神の国を相続で

きないことを、知らないのですか。だまされては
いけません。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦
淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗
む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしめる者、略奪
する者はみな、神の国を相続することができませ
ん。

(一コリント六・九、一〇)

むなしいことばに、だまされてはいけません。
こういう行ないのゆえに、神の怒りは不従順の
子らに下るのです。

(エペソ五・六)

また、みことばを実行する人になりなさい。自
分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけ
ません。

(ヤコブ一・二二)

だれでも、りっぱでもない自分を何かりっぱで
もあるかのように思うなら、自分を欺いている
のです。

(ガラテヤ六・三)

罪は死をもたらす

そういうわけで、ちよどひとりの人によって
罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こう
して死が全人類に広がったのと同様に、——それ
というのも全人類が罪を犯したからです。

(ローマ五・一二)
欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。
(ヤコブ一・一五)

肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。というのは、肉の思いは神に對して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。

(ローマ八・六、七)

罪を犯した者は、その者が死に、子は父の咎について負いめがなく、父も子の咎について負いめがない。正しい者の義はその者に帰し、悪者の悪はその者に帰する。
(エゼキエル一八・二〇)

だがおまえの弟は、死んでいたので生き返って来たのだ。いなくなっていたのが見つかったのだから、喜ぶのは当然ではないか。

(ルカ一五・三二)

このように、義を追い求める者はいのちに至り、悪を追い求める者は死に至る。(箴言一一・一九)

キリストは死に打ち勝たれた

聖い御霊によれば、死者の中からの復活により、

大能によつて、公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。

(ローマ一・四)

そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て来なさい。」すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたままで出て来た。彼の顔は布切れで包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどこいてやつて、帰らせなさい。」
(ヨハネ一一・四三、四四)

そして近寄つて棺に手をかけられると、かついでいた人たちが立ち止まったので、「青年よ。あなたに言う、起きなさい。」と言われた。すると、その死人が起き上がつて、ものを言い始めた。

(ルカ七・一四、一五a)

わたしが自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父はわたしを愛してくださいます。だれも、わたしからいのちを取つた者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。わたしはこの命令をわたしの父から受けたのです。

(ヨハネ一〇・一七、一八)

(わたしは)生きている者である。わたしは死んだが、見よ、いつまでも生きています。また、死とハデスとのかぎを持っている。

(黙示録一・一八)

神の命令

あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があつてはならない。あなたは、自分のために、偶像を造つてはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造つてはならない。それらを拜んではならない。それらに仕えてはならない。……あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。主は、御名をみだりに唱える者を、罰せずにはおかない。安息日を守つて、これを聖なる日とせよ。あなたの神、主が命じられたとおりに。六日間、働いて、あなたのすべての仕事をしななければならない。……あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が命じられたとおりに。……殺してはならない。姦淫してはならない。

盗んではならない。あなたの隣人に対し、偽証してはならない。あなたの隣人の妻を欲しがつてはならない。あなたの隣人の家、畑、男奴隸、女奴隸、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを、欲しがつてはならない。

(申命記五・七—二二)

神から隠れることはできない

神の御目が人の道の上にあり、その歩みをすべて見ているからだ。不法を行なう者どもが身を隠せるような、やみもなく、暗黒もない。

(ヨブ三四・二二、二三)

人が隠れた所に身を隠したら、わたしは彼を見つけることができるのか。——主の御告げ。

——天にも地にも、わたしは満ちているではないか。——主の御告げ。——(エレミヤ二三・二四)

たとい、私が天に上つても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。……あなたにとって、やみも暗くなく、夜は昼のように明るいです。暗やみも光も同じことです。(詩篇一三九・八、一二)

主の御目はどこにでもあり、悪人と善人とを見張っている。
(箴言一五・三)

造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に對して弁明をします。
(ヘブル四・一三)

隠れているもので、あらわにならぬものはなく、秘密にされているもので、知られず、また現われないものはありません。
(ルカ八・一七)

永遠の刑罰

人の子はその御使いたちを遣わします。彼らは、つまずきを与える者や不法を行なう者たちをみな、御国から取り集めて、火の燃える炉に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ぎしりするのです。

(マタイ二三・四一、四二)
悪者どもは、よみに帰って行く。神を忘れたあらゆる国々も。
(詩篇九・一七)

しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているので

す。

(Ⅱペテロ三・七)
そのような人々とは、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。
(Ⅱテサロニケ一・九)

もし、あなたの手か足の一つがあなたをつまづかせるなら、それを切つて捨てなさい。片手片足でいのちにはいるほうが、両手両足をそろつていて永遠の火に投げ入れられるよりは、あなたにとつてよいことです。
(マタイ一八・八)

こうして、この人たちは永遠の刑罰にはいり、正しい人たちは永遠のいのちにはいるのです。
(マタイ二五・四六)

死後のさばき

なぜなら、神は、お立てになつたひとりの人により義をもつてこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによつて、このことの確証をすべての人にお与えになつたのです。

(使徒一七・三一)
これらのことでわかるように、主は、敬虔な者

たちを誘惑から救い出し、不義な者どもを、さばきの日まで、懲罰のもとに置くことを心得ておられるのです。

(Ⅱペテロ二・九)

このことによつて、愛が私たちにおいても完全なものとなりました。それは私たちが、さばきの日にも大胆さを持つことができるためです。なぜなら、私たちもこの世にあつてキリストと同じような者であるからです。

(Ⅰヨハネ四・一七)

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている……。

(ヘブル九・二七)

死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従つて、自分の行ないに應じてさばかれた。

(黙示録二〇・一二b)

なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあつてした行為に應じて報いを受けることにならるからです。

(Ⅱコリント五・一〇)

こういうわけですから、私たちは、おのおの自分のことを神の御前に申し開きすることになります。

(ローマ一四・一二)

イエス・キリストの恵み

ただし、恵みには違反のばあいとは違ふ点があります。もしひとりの違反によつて多くの人が死んだとすれば、それにもまして、神の恵みとひとりの人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、多くの人々に満ちあふれるのです。

(ローマ五・一五)

したがって、事は人間の願いや努力によるのではなく、あわれんでくださる神によるのです。

(ローマ九・一六)

神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。

(Ⅰペテロ五・五b)

あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しきによつて富む者となるためです。

(Ⅱコリント八・九)

ことばに表わせないほどの賜物のゆえに、神に感謝します。

(Ⅱコリント九・一五)

しかし、罪の増し加わるところには、恵みも満ちあふれました。それは、罪が死によつて支配したように、恵みが、私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によつて支配し、永遠のいのちを得させるためなのです。

(ローマ五・二〇b, 二一)

使徒たちは、主イエスの復活を非常に力強くあかしし、大きな恵みがそのすべての者の上にあつた。

(使徒四・三三)

悔い改め

神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。(使徒一七・三〇)

そうではない。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。

(ルカ一三・三)

悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。

(マタイ三・二)

そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、

イエス・キリストの名によつてバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。……そういうわけですから、あなたがたの罪をぬぐい去っていただのために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。」

(使徒二・三八、三・一九)

あなたがたの犯したすべてのそむきの罪をあなたがたの中から放り出せ。

(エゼキエル一八・三二a)

自分のそむきの罪を隠す者は成功しない。それを告白して、それを捨てる者はあわれみを受ける。

(箴言二八・一三)

神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらしめます。(Ⅱコリント七・一〇)

罪の赦し

しかし、悪者でも、自分の犯したすべての罪から立ち返り、わたしのすべてのおきてを守り、公義と正義を行なうなら、彼は必ず生きて、死ぬことはない。

(エゼキエル一八・二一)

悪者はおのれの道を捨て、不法者はおのれのはかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。私たちの神に帰れ。豊かに救ってくださいるから。

(イザヤ五五・七)
もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいます。

(マタイ六・一四)
イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。あなたの罪は赦されました。」と言われた。

(マルコ二・五)
あなたがたに罪の赦しが宣べ伝えられているのはこの方によるといふことを、よく知っておいてください。……そして神は、イスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えるために、このイエスを君とし、救い主として、ご自分の右に上げられました。

(使徒一三・三八、五・三二)
見よ。わたしは、戸の外に立ってたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をします。

(黙示録三・二〇)

この世のものから離れる

というのは、すべての人を救う神の恵みが現われ、私たちに、不敬虔とこの世の欲とを捨て、この時代にあつて、慎み深く、正しく、敬虔に生活し……。

(テトス二・一、二)
あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

(コロサイ三・二)
実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。

(エペソ五・一二)
世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。

(一ヨハネ二・一五、一六)
貞操のない人たち、世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたかと思つたら、その人は自分を神の敵と

しているのです。

(ヤコブ四・四)

洗え。身をきよめよ。わたしの前で、あなたがたの悪を取り除け。悪事を働くのをやめよ。

(イザヤ一・一六)

新しく生まれる

あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。

(エゼキエル三六・二六)

もしあなたがたが、神は正しい方であると知っているなら、義を行なう者がみな神から生まれたこともわかるはずです。……神によって生まれた者はだれも罪の中に生きないことを、私たちは知っています。神から生まれた方が彼を守っていてくださるので、悪い者は彼に触れることができないのです。

(一ヨハネ二・一九、五・一八)

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

(Ⅱコリント五・一七)

イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

(ヨハネ三・三)

しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。

(Ⅰコリント六・一一b)

あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることのない、神のことはによるのです。

(Ⅰペテロ一・二三)

罪に死に、キリストに生きる

あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいった者であって……(あわれみ豊かな神は)キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。

(エペソ二・一、六)

そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離

れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。

(一ペテロ二・二四)

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。

(コロサイ三・一—三)

キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。

(ガラテヤ五・二四、二五)

罪に対して死んだ私たちが、どうして、なおもその中に生きていられるでしょう。……このように、あなたがたも、自分は罪に対しては死んだ者であり、神に対してはキリスト・イエスにあつて生きた者だと、思いなさい。

永遠のいのち

(ローマ六・二b、一一)

自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。

(ガラテヤ六・八)

モーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。それは、信じる者がみな、人の子にあつて永遠のいのちを持つためです。

(ヨハネ三・一四、一五)

その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。(ヨハネ一七・三) 御子を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることなく、神の怒りがその上にとどまる。(ヨハネ三・三十六) 罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

(ローマ六・二三)

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことを聞いて、わたしを遣わした方を

信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からのちに移っているのです。

(ヨハネ五・二四)

救いの保証

私たちが神の子ともであることは、御霊ご自身
が、私たちの霊とともに、あかししてくださいま
す。

(ローマ八・一六)

御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子
を持たない者はいのちを持っていません。私が神
の御子の名を信じているあなたがたに対してこれ
らのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいの
ちを持つていることを、あなたがたによくわから
せるためです。

(イヨハネ五・一二、一三)

わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わた
しを愛する人です。わたしを愛する人はわたし
の父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身
を彼に現わします。

(ヨハネ一四・二一)

義は平和をつくり出し、義はとこしえの平穏と
信頼をもたらす。

(イザヤ三三・一七)

そして、あなたがたは子であるゆえに、神は

「アバ、父。」と呼ぶ、御子の御霊を、私たちの心
に遣わしてくださいました。(ガラテヤ四・六)
神は私たちに御霊を与えてくださいました。そ
れによって、私たちが神のうちにおり、神も私た
ちのうちにおられることがわかります。

(イヨハネ四・一三)

内住のキリストが喜びを与える

わたしは今みもとにまいます。わたしは彼ら
の中でわたしの喜びが全うされるために、世に
あつてこれらのことを話しているのです。

(ヨハネ一七・一三)

わたしはもう一度あなたがたに会います。そう
すれば、あなたがたの心は喜びに満たされます。
そして、その喜びをあなたがたから奪い去る者
はありません。

(ヨハネ一六・二二b)

なぜなら、神の国は飲み食いのことではなく、
義と平和と聖霊による喜びだからです。

(ローマ一四・一七)

あなたがたは喜びながら救いの泉から水を汲
む。

(イザヤ一二・三)

たほかの神々に従って行くなら、のろいを与えらる。 (申命記一一・二六―二八)

キリストを告白する

すべての口が、「イエス・キリストは主である。」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。 (ピリピ二・一一)

ですから、わたしを人の前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。しかし、人の前でわたしを知らないと言うような者なら、わたしも天におられるわたしの父の前で、そんな者は知らないと言います。

(マタイ一〇・三三、三三)
なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

(ローマ一〇・九、一〇)
だれでも御子を否認する者は、御父を持たず、御子を告白する者は、御父を持っているのです。

(一ヨハネ一・二三)
もしだれでも、わたしとわたしのことはとを恥と思うなら、人の子も、自分と父と聖なる御使いとの栄光を帯びて来るときには、そのような人のことを恥とします。 (ルカ九・二六)

私たちの敵、サタン

身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのようになり、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。 (一ペテロ五・八)

不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い……。 (二テサロニケ二・九)

それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らに罪の赦しを得させ、聖なるものとされた人々の中であって御国を受け継がせるためである。 (使徒二六・一八)

さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野の上って行かれた。……イ

エスは言われた。「引き下げられ、サタン。『あなた
の神である主を拝み、主にだけ仕えよ。』と書いてある。」すると悪魔はイエスを離れて行き、見よ、御使いたちが近づいて来て仕えた。

(マタイ四・一、一〇、一一)

終わりに言います。主にあって、その大能の力によつて強められなさい。悪魔の策略に對して立ち向かうことができるために、神のすべての武器を身に着けなさい。(エペソ六・一〇、一一)

悪魔に対する勝利

そこで、子たちはみな血と肉とを持っていて、主もまた同じように、これらのものをお持ちになりました。これは、その死によつて、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼすためでした。

(ヘブル二・一四)

罪のうちを歩む者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。

(一ヨハネ三・八)

私たちをキリストの愛から引き離すのはだれで

すか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。……しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によつて、これらすべてのことの中にあつても、圧倒的な勝利者となるのです。

(ローマ八・三五、三七)

ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。

(ヤコブ四・七、八)

その時になると、不法の人が現われますが、主は御口の息をもつて彼を殺し、来臨の輝きをもつて滅ぼしてしまわれます。不法の人の到来は、サタンの働きによるのであつて、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴います。

(Ⅱテサロニケ二・八、九)

愛、弟子のしるし

たとい、私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさ

いシンバルと同じです。(一コリント一三・一)

しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。

(ガラテヤ五・二二、二三a)

イエスは再び彼に言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」

(ヨハネ二・一六)

もしあなたがたがわたしを愛するならば、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。

(ヨハネ一四・一五)

神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。

(一ヨハネ四・二〇)

もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。

(ヨハネ一三・三五)

私たちは、自分が死かいらいのちに移ったことを知っています。それは、兄弟を愛しているからです。愛さない者は、死のうちにとどまっているのです。

(一ヨハネ三・一四)

イエス・キリストの復活

私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムとで行なわれたすべてのことの証人です。人々はこの方を木にかけて殺しました。しかし、神はこのイエスを三日目によみがえらせ、現われさせてくださいました。しかし、それはすべての人々にはなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちにです。私たちは、イエスが死者の中からよみがえられて後、ごいつしよに食事をしました。

(使徒一〇・三九―四一)

さて、週の初めの日の朝早くによみがえられたイエスは、まずマグダラのマリヤにご自分を現わされた。イエスは、以前に、この女から七つの悪霊を追い出されたのであった。

(マルコ一六・九)

八日後に、弟子たちはまた室内におり、トマス

も彼らといっしょにいた。戸が閉じられていたが、イエスが来て、彼らの中に立つて、「平安があなたがたにあるように。」と言われた。それからトマスに言われた。「あなたの指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」トマスは答えて言った。「私の主。私の神。」（ヨハネ二〇・二六―二八）

主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。（ローマ四・二五）

復活、私たちの栄光の望み

まことに、まことに、あなたがたに告げます。死人が神の声を聞く時が来ます。今がその時です。そして、聞く者は生きるのです。……このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞いて出て来る時が来ます。善を行なつた者は、よみがえつていのちを受け、悪を行なつた者は、よみがえつてさばきを受けます。

（ヨハネ五・二五、二八、二九）

それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたのではありませんか。私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによつて、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によつて死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあつて新しい歩みをするためです。もし私たちが、キリストにつき合わされて、キリストの死と同じようになっているならば、必ずキリストの復活とも同じようになるからです。（ローマ六・三―五）

もしキリストがあなたがたのうちにおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊が、義のゆえに生きています。もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死すの中からもよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によつて、あなたがたの死ぬべきからだをも生かしてくださるのです。

（ローマ八・一〇、一一）

神のきよめ

われらを敵の手から救い出し、われらの生涯のすべての日に、きよく、正しく、恐れなく、主の御前に仕えることを許される。

(ルカー・七四、七五)

愛する者たち。私たちはこのような約束を与えられているのですから、いっさいの霊肉の汚れから自分をきよめ、神を恐れかしこんで聖きを金うしようではありませんか。(Ⅱコリント七・一)

私は、あなたがたが悔い改めるために、水のバプテスマを授けていますが、私のあとから来られる方は、私よりもさらに力のある方です。私はその方のはきものを脱がせてあげる値うちもありません。その方は、あなたがたに聖霊と火とのバプテスマをお授けになります。

(マタイ三・一一)

父なる神の予知に従い、御霊の聖きによつて、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。

(Ⅰペテロ一・二a)

ですから、だれでも自分自身をきよめて、これらのことを離れるなら、その人は尊いことに使われる器となります。すなわち、聖められたもの、主人にとって有益なもの、あらゆる良いわざに間に合うものとなるのです。

(Ⅱテモテ一・二一)

あなたがたを召してください。くださった聖なる方にならつて、あなたがた自身も、あらゆる行ないにおいて聖なるものとされなさい。(Ⅰペテロ一・一五)

ですから、イエスも、ご自分の血によつて民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。

(ヘブル一三・一二)

すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前からキリストのうちに選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。……真理に基づき義と聖をもつて神にかたどり造り出された、新しい人を身に着るべきことでした。

(エペソ一・四、四・二四)

そこに大路があり、その道は聖なる道と呼ばれる。汚れた者はそこを通れない。これは、贖われた者たちのもの。旅人も愚か者も、これに迷い

込むことはない。

(イザヤ三二・八)

もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

(イヨハネ一・九)

このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならぬことでしょうか。

(Ⅱペテロ三・一二)

すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることができません。

(ヘブル二二・一四)

聖霊に満たされる

してみると、あなたがたも、悪い者ではあつても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありましよう。

(ルカ一一・一三)

彼らがこう祈ると、その集まっていた場所が震

い動き、一同は聖霊に満たされ、神のことは大胆に語りだした。

(使徒四・三一)

わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従つて歩ませ、わたしの定めを守り行なわせる。

(エゼキエル三六・二七)

けれども、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉の中ではなく、御霊の中にいるのです。キリストの御霊を持たない人は、キリストのものではありません。

(ローマ八・九)

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、……わたしの証人となります。

(使徒一・八)

彼はりっぱな人物で、聖霊と信仰に満ちている人であった。

(使徒一一・二四 a)

弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。

(使徒二三・五二)

クリスチャンへのすばらしい約束

主は心の打ち砕かれた者の近くにおられ、たましいの砕かれた者を救われる。

(詩篇三四・一八)

これらすべては、わたしの手が造つたもの、これらすべてはわたしのものだ。——主の御告げ。——わたしが目を留める者は、へりくだって心碎かれ、わたしのことばにおののく者だ。

(イザヤ六六・二)

するとイエスは言われた。「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」

(マルコ九・二三)

愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間に燃えさかる火の試練を、何か思いがけないことが起こったかのように驚き怪しむことなく、むしろ、キリストの苦しみにあずかれるのですから、喜んでいなさい。それは、キリストの栄光が現われるときにも、喜びおどる者となるためです。(一ペテロ四・一二、一三)

彼らの目の涙をすつかりぬぐい取つてくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。

(黙示録二一・四)

主に信頼して善を行なえ。地に住み、誠実を

養え。

(詩篇三七・三)

試みのときの約束

主は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることがおできになるのです。

(ヘブル二・一八)

平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。

(ローマ一六・二〇a)

正しい者の悩みは多い。しかし、主はそのすべてから彼を救い出される。

(詩篇三四・一九)

あなたが水の中を過ぎるときも、わたしはあなたとともにおり、川を渡るときも、あなたは押し流されない。火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない。

(イザヤ四三・一二)

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

(ローマ八・二八)

あなたがたの会った試練はみな人の知らないよ

うなものでありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に合わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。

(一コリント一〇・一三)

勝利の約束

勝利を得る者を、わたしの神の聖所の柱としてよ。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上になにわたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書きしるす。(黙示録三・一二)

勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。そして、わたしは、彼の名をいのちの書から消すようなことは決してしない。わたしは彼の名をわたしの父の御前と御使いたちの前で言い表わす。

(黙示録三・五)

勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、

わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。

(黙示録三・二一)

勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

(黙示録二・七)

耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。勝利を得る者に、わたしは神のパラダイスにあるいのちの木の実を食べさせよう。

(黙示録二・七)

離婚について

次に、すでに結婚した人々に命じます。命じるのは、私ではなく主です。妻は夫と別れてはいけません。——もし別れたのだったら、結婚せずにいるか、それとも夫と和解するか、どちらかにしなさい。——また夫は妻を離別してはいけません。

(一コリント七・一〇、一一)

夫のある女は、夫が生きている間は、律法によつて夫に結ばれています。しかし、夫が死ねば、夫に関する律法から解放されます。ですから、夫が生きている間に他の男に行けば、

姦淫かんいんの女おんなと呼ばれるのですが、夫おとこが死ぬば、律りつ法ぽうから解放かいほうされており、たとい他の男おとこに行つても、姦淫かんいんの女おんなではありません。

(ローマ七・二一、三)

だれでも妻つまを離別りべつしてほかの女おんなと結婚けつこんする者は、姦淫かんいんを犯まかす者ものであり、また、夫おとこから離別りべつされた女おんなと結婚けつこんする者ものも、姦淫かんいんを犯まかす者ものです。

(ルカ一六・一八)

しかし、わたしはあなたがたに言いいます。だれであつても、不貞ふてい以外の理由りゆうで妻つまを離別りべつする者ものは、妻つまに姦淫かんいんを犯まかさせるのです。また、だれでも、離別りべつされた女おんなと結婚けつこんすれば、姦淫かんいんを犯まかすのです。

(マタイ五・三二)

キリストの再臨

わたしが行つて、あなたがたに場所ばしょを備そなへたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎むかへます。わたしのいる所ところに、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ一四・三)

わたしは、すぐに来くる。あなたの冠かんむりをだれにも奪うばわれないように、あなたの持もっているものを

しつかりと持もつていなさい。(黙示録三・一一)

このような姦淫かんいんと罪つみの時代じだいにあつて、わたしとわたしのことばを恥はじるような者ものなら、人の子ひとこも、父ちちの栄光えいこうを帯おびびて聖せいなる御使みつかいたちとともに来るときには、そのような人ひとのことを恥はじます。

(マルコ八・三八)

そのとき、人の子ひとこのしるしが天あめに現あらわれます。すると、地上ちじょうのあらゆる種族しゆぞくは、悲かなしみながら、人の子ひとこが大能たのうと輝かがやかしい栄光えいこうを帯おびびて天てんの雲くもに乗のつて来るのを見るのです。(マタイ二四・三〇)

あなたがたも耐たえ忍しのびなさい。心こころを強つよくしなさい。主しゅの来こられるのが近ちかいからです。

(ヤコブ五・八)

人の子ひとこの来るのは、いなずまが東ひがしから出て、西にしにひらめくように、ちょうどそのように来るのです。

(マタイ二四・二七)

そして、こう言いつた。「ガリラヤの人ひとたち。なぜ天てんを見み上げて立たつて居いるのですか。あなたがたを離はなれて天てんに上あげられたこのイエスは、天てんに上あつて行いかれるのをあなたがたが見みたときと同じ有様ありさまで、またおいでになります。」(使徒一・一一)

そのとき、人々は、人の子が力と輝かしい栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るのです。

(ルカ二二・二七)

愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまた明らかにされていません。しかし、キリストが現われたなら、私たちはキリストに似た者となることがわかっていきます。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。キリストに対するこの望みをいなく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を清くします。(Iヨハネ三・二、三) 見よ。わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は辛いである。

(黙示録一六・一五)

あなたがたも用心していなさい。人の子は、思いがけない時に来るのですから。

(ルカ二二・四〇)

人の子は父の栄光を帯びて、御使いたちとともに、やがて来ようとしているのです。その時には、おのおのその行ないに応じて報いをします。

神のさば

(マタイ一六・二七)

この天地は滅びます。しかし、わたしのことは決して滅びることがありません。

(ルカ二二・三三)

なぜなら、預言は決して人間の意志によつてもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。

(IIペテロ一・二二)

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。

(IIテモテ三・一六)

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。

(詩篇一一九・一〇五)

祈りと赦し

だから、こう祈りなさい。「天にいます私たちの父よ。御名があがられますように。御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように。地でも行なわれますように。私たちの日ごとの糧を

きょうもお与あたえてください。私たちの負おいめをお赦ゆるしてください。私たちも、私たちに負おいめのある人ひとたちを赦ゆるしました。私たちを試こころみに会あわせないで、悪あくからお救すくってください。」〔国くにと力ちからと榮さかえは、とこしえにあなたのものでからです。アーメン。〕

もし人ひとの罪つみを赦ゆるすなら、あなたがたの天てんの父ちちもあなたがたを赦ゆるしてくださいます。しかし、人ひとを赦ゆるさないなら、あなたがたの父ちちもあなたがたの罪つみをお赦ゆるしになりません。

(マタイ六・九―一五)